

令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

インフラ長寿命化のための児童福祉施設等における更新費用等の算定に関する調査研究

<実施主体名>

PwC コンサルティング合同会社

(以下、調査研究報告書の概要を記載。)

【目的】

全国の公立の児童福祉施設等の更新費用の効率化に資することを目的として実施した。児童福祉施設等についてその現状（築年数や面積、構造等）を把握するとともに、改築や更新等の将来必要となる対策を行った場合に建造物の存続期間全体でかかる費用、すなわち「ライフサイクルコスト」を試算した。そのうえで、長寿命化工事（予防保全）を実施することによる更新費用の効率化効果を検証した。

【概要】

○アンケート

・公立の児童福祉施設を対象に、運営する自治体へ調査票を配布。個別施設計画の策定対象となっている建築物についてコストの実績と見通しを尋ねた。

○試算

・築30年目まで最低限のメンテナンスをしたという前提で、31年目以降に3通りのシナリオを想定し、それぞれについてライフサイクルコストを試算した。

【結果】

全自治体への質問紙調査の結果、建物のライフサイクルコストの算定式を作ることができた。そのうえで、いくつかのシナリオによってライフサイクルコストがどのように変わるかを試算し、長寿命化することで建物寿命全体のコスト（ライフサイクルコスト）が抑制されることが明らかになった。